

# 県事研究会報

第69号

平成14年10月1日

発行人 熊本県学校事務研究協議会会長 原口 豊

編集代表 事務局長 藤川 英一

事務局 熊本市立桜木小学校内

〒861-2118熊本市花立2丁目23-1

096(368)6095 Fax 096(331)1514

< 今回の主な内容 >

- ・県事研大会案内  
分科会場のお知らせ  
全体研究会等概要  
分科会レポート紹介
- ・学校事務必携表紙募集
- ・理事会だより

## 第28回熊本県学校事務研究大会ご案内

日増しに秋も深まり、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第28回熊本県学校事務研究大会を10月29・30日の両日に開催いたしますが、地区別1本レポートについて、会員の皆様のご理解とご協力を賜り、本年度も10本のレポートが4つの分科会で発表されます。

分科会の発表形態や分科会場の収容能力等を参考にして、分科会場を決定いたしましたのでお知らせいたします。

分科会名	助言者	分科会場
<b>第1分科会「学校経営と学校事務」</b> よりよい標準的職務内容の確立に向けて（荒玉） 存在感のある学校事務職員になるために（上益城）	全国公立小中学校事務職員研究会 組織部長 （埼玉県志木市立志木第三小学校 事務主幹） 嶺田 新太郎	メルパルク熊本 メルパルクホール
<b>第2分科会「教育条件整備」</b> 阿蘇町の備品管理（阿蘇） 新備品台帳に取り組んで（宇城） 保護者負担軽減に向けて（八代）	熊本県中学校長会 副会長 （益城町立木山中学校 校長） 久保 征明	メルパルク熊本 高岳・中岳
<b>第3分科会「事務改善」</b> 第1分散会「学校事務のOA化」 校内LANから事務職員の役割を考える（熊本） エクセルによる事務改善（天草）	福岡県前原市立前原南小学校 主幹 城戸 伸夫	くまもと県民 交流館パレア パレアホール
<b>第3分科会「事務改善」</b> 第2分散会「事務研活動の活性化」 鹿本郡市事務研のネットワークを広げよう（鹿本） 水俣芦北地区事務研活性化に向けて（水葦） 下球磨地区学校事務職員会”表簿説明書”作成の 取組（球人）	鹿児島県小中学校事務職員研究会 事務局長 （伊集院北中学校 事務主査） 鶴田 利一	くまもと県民 交流館パレア パレアホール

# 全体研究会「学校事務職員制度の課題と展望Ⅳ」の概要

## 1 テーマ

昨年策定された研究5か年計画の第1年次のテーマは、「学校管理規則と職務規程」でした。このため、前回大会の全体研究会は「学校事務職員制度の課題と展望」と題して、学校管理運営規則モデル案と職務規程について研究発表と協議を行いました。平成10年の中教審答申の趣旨に沿ってとりまとめた学校管理運営規則モデル案は、今後の学校管理運営システムと学校事務職員制度の在り方を考えるために、様々な示唆を与えたのではないかと思います。また、職務規程についての研究を深めることによって、事務職員の職務をあらためて見直す機会になったのではないかと思います。

研究5か年計画の2年次である今年度は、「事務の共同実施」について研究発表を行います。平成11年以来、全国で事務の共同実施が取り組まれてきています。また、それと同時に事務職員の加配も行われてきました。共同実施には、どのような可能性があるのでしょうか。今回の研究は、各領域ごとに職務内容を洗い出し、共同実施の可能性について研究を深めます。

## 2 清原正義先生の講演について

清原先生には、2年前の大会で「教育行政改革と学校事務」の演題で講演をしていただき、学校事務職員制度を理解するための種々の基礎的な概念についてお話しいただきました。同時に、事務局からは「学校事務職員制度の確立のために」のレポートを発表し、学校事務職員制度を構成する4つの領域について、理論的な整理を行いました。現在取り組んでいる研究5か年計画の「序章」とも言うべき大会だったと思います。

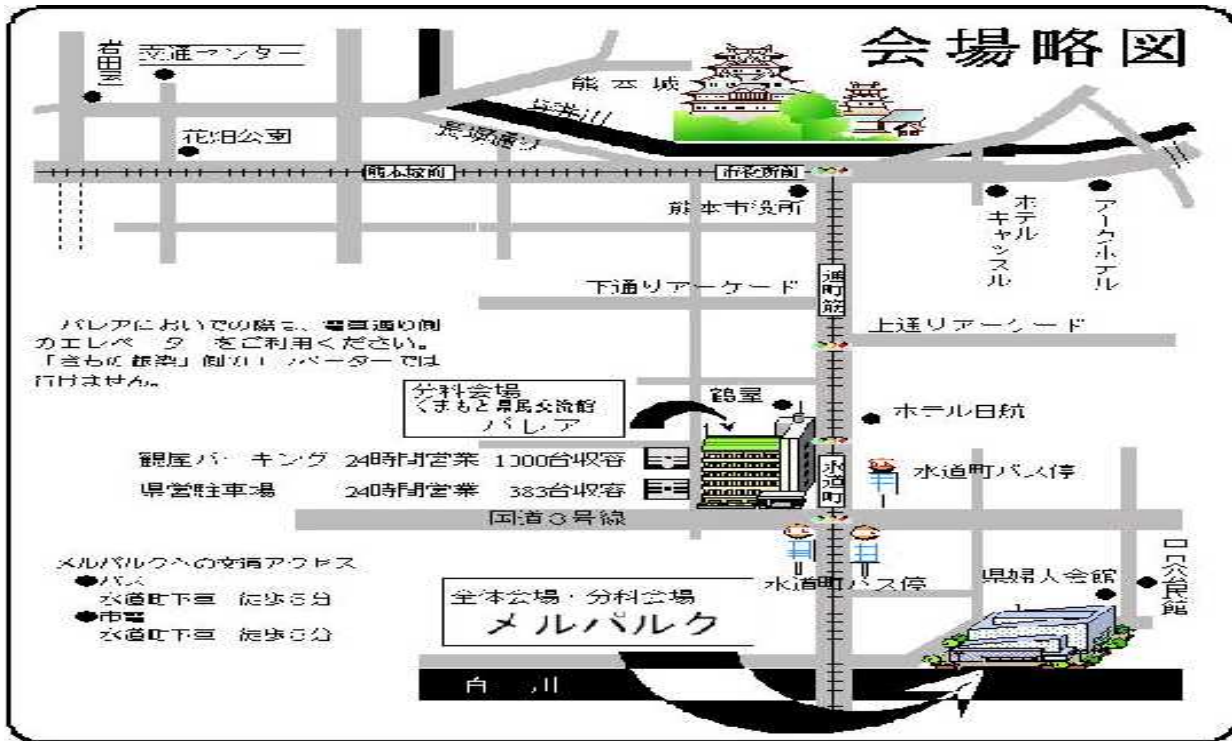
今回の講演は、演題を「義務教育と学校事務職員制度の行方（仮称）」として行われます。ご承知のとおり、現在、公務員制度改革や義務教育費国庫負担制度の見直しなど、学校教育全体を揺るがすような大きな変革期を迎えようとしています。今後、日本の義務教育の財政基盤は、どうなるのでしょうか。学校事務職員制度はどのような変貌を遂げることになるのでしょうか。見直しの論点などを踏まえて、今後の行方についてお話しいただきます。また、「事務の共同実施」についても、全国における事例などを交えて、その現状とこれからの可能性についてお話しいただきます。

ところで、先生は近著『21世紀学校事務辞典1』の中で、次のように述べておられます。

「研修が職務の確立と一体だということが理解され、職務の習熟のためだけでなく、職務の発展のために研修が必要不可欠だという認識が広がりつつあるように見える。」

私たちは、事務研の活性化に向けてこの数年取り組んできましたが、活動の最終目的は「職務の確立」です。事務研の改革・活性化もそこに至るための一つのステップです。職務の確立を目指して、事務研活動は今後いかにあるべきか。また、本県で取り組んでいる学校管理規則の見直しや職務規程は、学校事務職員制度の確立の観点から、どのように評価できるのか。本県の事務研活動に対するコメントもお願いしています。

先生には講演を1時間30分、その後20分程度の質疑応答をお願いしています。今回も前回同様、学校事務職員制度の研究を深める貴重な機会になることと思います。



# 県事研大会分科会・レポートの紹介

## 第1分科会「学校経営と学校事務」

よりよい標準的職務内容の確立に向けて

荒玉地区 荒尾市立荒尾第三小学校 坂門 芳文

地区事務研究会におけるテーマ別分科会において「よりよい標準的職務内容の確立に向けて」をテーマとして、各県教育委員会から出されている標準的職務表を利用して、職務内容のアンケートを実施しました。アンケートの回答を分析した結果、職務に対する認識なり姿勢の違いがあるという課題ができました。分科会では、アンケート結果に基づき、職務内容の確立に向けての取り組みなり、職務内容の定着化のために、職務に対する認識の違いを克服し、事務職員内部の意思統一はできないかということ考察し、標準的職務内容の方向性を模索しました。分科会で模索した内容を発表し、問題提起します。

存在感のある学校事務職員になるために

上益城地区 矢部町立下矢部東部小学校 告本 哲也  
益城町立飯野小学校 岡本 秀一

上益城郡学校事務研究会の「環境分科会」は、平成13年度から14年度にかけて、学校開放や情報公開、総合的な学習の時間の導入などの、学校を取り巻く環境の大きな変化に対応するべく、「子ども達や地域、職員に視点を向けた研究」をしてきた。

今回はその中から、事務壁新聞、事務室ニュースの2つの広報活動をとおり、学校や地域、職員を見つめ直した実践を紹介する。

これらの実践は誰にでもできる、他愛ない実践である。しかし、子ども達や地域、職員、そして私たち学校事務職員自身が、学校予算や学校の環境、さらに学校事務職員の職に対する意識を高めることができる例である。

この分科会では、実践例の紹介から、我々1人1人の実践と、職をアピールすること、学校運営に携わることの重要性を再認識したい。また、参加していただいた方々と実践を出し合いながら、それぞれが学校に帰ってから、何かを実践する上でのヒントを提供できたらと思う。

存在感のある、時代に対応した学校事務職員になるために、まず何か実践してみよう！

## 第2分科会「教育条件整備」

阿蘇町の備品管理

阿蘇地区 阿蘇町立碧水小学校 田中 浩司

備品台帳をもうちょっとマシにしようかとボチボチ始めたのが、見やすいもの 使いやすいもの わかりやすいシステムと手を拡げるうちに1年が過ぎてしまった。まだ動き出してもいないのに誰でも（全職員が）できるシステムという大風呂敷をひろげているが、それを実現するためにはわかりやすいマニュアルの整備が必要である。大変な作業ではあるが、携わる全ての人たちの協力を得ることがこの仕事の価値を高めると考えている。出来はまだまだではあるが品数だけはあるのでどんどん買いたたいて（ご意見を）いただきたい。

新備品台帳に取り組んで

宇城地区 宇土市立宇土東小学校 福田 雪光

宇土市内で使用されていた備品台帳は、不備な点があり、また統一された備品台帳処理要項もなかった。よりよい備品管理を行うために、新備品台帳の作成・備品処理要項の作成に取り組んだが、整備は容易ではなかった。発表を通じて、台帳作成上の問題点、導入後の改善面などを挙げ、今後の課題について協議したい。

保護者負担軽減に向けて

八代地区 八代市立郡築小学校 上野けい子

近年厳しい地方財政下で、教育予算の削減が行われている自治体が多い。八代市は以前、教育予算が劣位であったが、平成8年からこれまで、市教委と学校（事務部会）で市内小・中学校の保護者負担軽減に取り組んできた。予算の増額のため、「保護者負担軽減費」の予算化に尽力した実践を報告するとともに、学校現場で働く私たちと教育行政の場で働く方々と、豊かな教育条件整備のために何ができるかを考えたい。それから各自治体の教育予算の現状を交流する中で、めざすべき公費化についても探りたい。

## 第3分科会「事務改善」

第1分散会「学校事務のO A化」

校内LANから事務職員の役割を考える

熊本地区 熊本市立長嶺中学校 坂本 幸陽

学校へのLAN工事をきっかけに、事務室が職員室等とLANで結ばれたら、どういう事ができるか、また、どういう問題点が考えられるか市内小・中学校の職員にアンケート調査を実施した。

コンピュータを使った情報管理、オンライン化等とからめ、事務職員の考え方を見つめ直し、校内LANに対する考え方、意識を話し合いたい。

エクセルによる事務改善

天草地区 五和町立五和西中学校 菊川 伸夫

現在、インターネット上をはじめエクセルを利用した学校事務に関する自作のソフトが多数流通していますが本県の実態にそぐわなかったり操作が複雑だったりとなかなか活用できなくありませんか？そんな皆さんに是非活用して頂きたく、今回文書及び旅費の管理をするためのソフトを発表いたします。これらのソフトのポイントは機能を絞ってその分操作を簡略化し誰にでも使えるようなソフトをめざしたという点です。また、これらのソフトは操作方法が似ており1つのソフトの利用方法がわかればもう1つのソフトも同様に利用できるという隠れた(?)メリットもあります。また、「私はエクセルはちょっと・・・。」という方もご安心ください。表計算に必要な計算式等の知識は全く必要ありませんのでご心配なく。今回の発表を通じてより多くの方々これらのソフトを活用して頂けたらと思います。

第2分散会「事務研活動の活性化」

鹿本郡市事務研のネットワークを広げよう

鹿本地区 山鹿市立平小城小学校 井上 雅晴

事務研の目的は、私達の事務能力の向上が挙げられますが、それは資料や情報を共有し利用するところから始まるのではないのでしょうか。そうした情報共有の濃密さが、事務研を充実させ活性化させる大きな要因だと思われます。鹿本郡市事務研では、以前から情報の共有という視点に立ち、事務研を充実させるべく実践を行っています。今回のレポートでは情報共有の実践として、資料蓄積のための10年誌の編纂、研究定番の研修、町事務研の枠を越えた共同研修を報告いたします。また、情報

公開としては、管内における郡市事務研だよりと、管外に向けた鹿本郡市事務研ネットワーク、そして情報共有と公開を網羅したホームページの作成の取り組み等様々な実践を報告いたします。

各地区でも事務研の活性化のため、私たちの事務能力向上のための実践が行われていると思います。そうした実践を学び合うと共に、どう変わっていったのかという現状を話し合いたいと思います。ホームページアドレスは下記のとおりです。分科会に出席されない方も一度アクセスしてみてください。

<http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/ws/kmtjimuw/>

水俣芦北地区事務研活性化に向けて

水葦地区 水俣市立袋中学校 山下 文

芦北水俣郡市学校事務職員会では、今年度より研修体制の見直しをして、全員参加の少人数によるグループ別研修を始めました。

今回のレポートでは、今までの研修体制から現在の研修体制を作り上げるまでの経緯、テーマ設定を郡市事務研から県事務研につながる内容にしたこと、少人数によるグループの研修の内容についてご報告いたします。

「発表のための研修」にならない事を考え実施している研修ですが、研修時間の確保の問題や内容の年度を超えた継続など、多くの問題があります。しかし、これらの問題の解決方法を探り、郡市事務研の研修の在り方、活性化の方法について話し合える場とできたら幸いです。

下球磨地区学校事務職員会 ” 表簿説明書 ” 作成の取組

球人地区 山江村立山田小学校 木崎 正邦

下球磨地区学校事務職員会では、平成12年度より、学校事務という職を見つめ直そう、まずは、日常業務の点検を行おうといった観点から、身近にある表簿にスポットを当て、表簿一つ一つについての解説書を作成することにより、日頃の業務を掘り下げて学習することにしました。その学習の中からできあがった解説書を私たちは、表簿説明書と呼んでいます。

表簿説明書を作成する過程において、必要とする情報が身近にないことを痛感させられたことから、分科会においては、今後、学校事務職員相互の情報の共有化や、ネットワーク作りについての協議が行えないものかと考えています。

## 2003年版学校事務必携の表紙を飾ってみましょう!!

今年度も充実した学校事務必携を作成するため、我々熊本県事務研・研究部編集班は、編集に取り組んでいます。今年度も引き続き、必携の表紙を事務職員の皆さんから公募することにしました。写真、絵、どちらでも結構です。どしどしご応募下さい。

作品は返却しませんので、あらかじめご了承下さい。

応募規格

- ・ 作品テーマ「我が校区の自慢の風景」 ・ サイズ 写真：2 L 絵：B 6
- ・ 締め切り 平成14年11月30日

ご応募先はこちら・・・〒868-0016

人吉市城本町873

人吉市立人吉西小学校 北里 良徳

今回の会報はいかがでしたでしょうか？ 県事研究会報へのご意見ご要望の他、短歌や詩など（できれば学校事務を題材にしたもの）をお寄せ下さい。皆さんに親しまれる会報作りを目指します。

編集班 新村・荒木

mailアドレス・・・[nimura@mth.biglobe.ne.jp](mailto:nimura@mth.biglobe.ne.jp)



# 理事会だより

平成14年9月18日  
於：メルパルク

朝夕は随分と涼しくなってきました。この会報が届く頃は、小学校の運動会も終わっている頃でしょうが、会員の皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

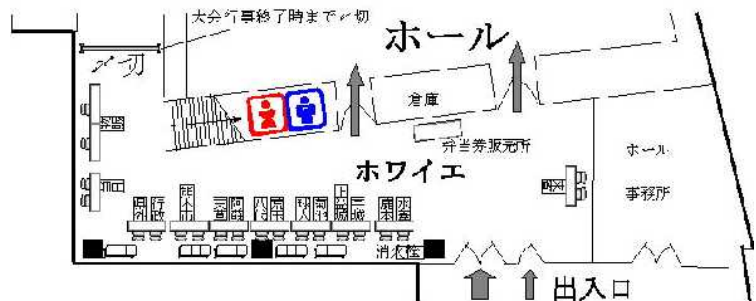
さて、9月18日に第2回目の理事会を開催しました。午前中は、理事会、事務局、研究部の全員が一同に会して、県大会までの日程や、当日の準備等に関する話を話し合いました。午後からが理事会となりましたが、事務局員の選出方法に関する議題以外は、県大会のことでしたので今回の「理事会だより」は、県大会に関するお知らせやお願いが主なものになります。

## 1 参加様態の変更は地区理事までお知らせください

参加申込み後、様々な都合で1日目に参加できなくなったり、1日目だけの参加になったりということがあるかと思いますが、必ず地区の理事さんにご連絡をお願いします。連絡がないまま欠席等をされますと、受付の方で、いつまでもおいでをお待ちすることになりますのでよろしくをお願いします。

## 2 一日目のみ弁当を販売します

メルパルクのレストランは当日は利用できないかと思われます。また、レストラン街までは歩いて10分程度はかかります。このためメルパルクの方で弁当を販売してもらうこと



になりました。希望される方は大会当日の朝から弁当券を購入してください。弁当はホールの中、およびホワイエでお摂りいただくこととなります。

なお、ジュース類もホール、ホワイエ以外ではお召し上がりにならないようにお願いします。

## 3 総会に出席できない方は委任状を出してください

昨年度総会での会則改正により、今年度から総会の成立要件が会員の3分の2以上の出席となります。都合で総会に出席できない方は委任状をご提出ください。

## 役員を選出方法について

昨年度の総会で会長選考委員の設置を承認していただき、きちんとした道筋で会長が選考できるようになりました。会長以外の役員を考えたとき、理事さんはもちろん地区研の会長さんですし、研究部員も地区研から選出していただいています。ただ、研究部長、事務局長と事務局員の選出について明確な選出方法が確立されていません。理事会では、昨年度からそうした役員の選出に関してルール作りを模索してきました。

来年度から新しい体制で組織できるよう、12月理事会で決定したいと考えています。詳しいことは各地区の理事から提案があると思いますが、各地区研での活発な議論をお願いします。